

横浜市教育委員会
臨時会会議録

- 1 日 時 平成29年11月17日（金）午後2時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席者 岡田教育長 大場委員 間野委員 長島委員 宮内委員 中村委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

平成 29 年 11 月 17 日（金）午後 2 時 00 分

- 1 会議録の承認

- 2 一般報告・その他報告事項
平成 29 年度横浜市読書活動推進ネットワークフォーラムについて
老松中学校七十周年記念 老松中学校生徒作成によるPOP展「なぜわた本 ～なぜ
わたしがこの本を選んだのか？～」の開催について

- 3 審議案件
教委第 56 号議案 学校規模適正化等について
教委第 57 号議案 平成 29 年度歳入歳出予算案（12 月補正）に関する意見の申出に
ついて

- 4 その他

[開会時刻：午後2時00分]

岡田教育長

それでは、ただいまから、教育委員会臨時会を開会いたします。
初めに、会議録の承認を行います。10月26日の会議録の署名者は長島委員と宮内委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正等を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、11月10日の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

小林教育次長

【一般報告】

1 市会関係

教育次長の小林です。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、前回の教育委員会定例会から本日までの間についての報告事項はございません。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 11/4 神奈川県中学校総合体育大会駅伝大会
- 11/11 浦島丘中学校創立70周年記念式典
西中学校創立70周年記念式典
根岸中学校創立70周年記念式典
中山中学校創立70周年記念式典
- 11/11 第53回横浜市立小学校球技大会サッカーの部
- 11/13 横浜市立小学校体育大会

(2) 報告事項

- 平成29年度横浜市読書活動推進ネットワークフォーラムについて
- 老松中学校七十周年記念 老松中学校生徒作成によるPOP展「なぜわたし本～なぜわたしがこの本を選んだのか？～」の開催について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、11月4日に、神奈川県中学校総合体育大会駅伝大会が横浜八景島・海の公園周回コースで行われ、男子の部において、田奈中学校が優勝いたしました。田奈中学校は、同大会で4位に入った大綱中学校とともに、12月3日に群馬県前橋市で行われる関東大会に出場いたします。また、田奈中学校は県の優勝校として、12月17日に滋賀県野洲市で行われる全国大会にも出場することが決まっています。

11月11日に、創立70周年記念式典が市内複数の中学校で執り行われています。そのうち、浦島丘中学校には岡田教育長が、西中学校には長島委員が、根岸中学校には大場委員が、中山中学校には中村委員がそれぞれ出席し、挨拶を行いました。

た。

また、同じく11月11日は、第53回横浜市立小学校球技大会サッカーの部が、三ツ沢競技場で行われました。当日は、元Jリーガーの内田智也さんと、なでしこリーグの「ニッパツ横浜FCシーガルズ」の選手の皆さんが来場し、子供たちに「サッカーの楽しさ」や「プロとして活躍した自身の経験談」を、実技を交えながら伝えていただきました。

11月13日には、10月17日に実施予定で雨天延期となっておりました横浜市立小学校体育大会第1日目が日産スタジアムで開催され、岡田教育長が出席し、挨拶いたしました。今回は好天に恵まれ、子供たちが元気に躍動する姿を見ることができました。

次に、報告事項として、この後、所管課から2点、報告させていただきます。

まず、1点目ですが、平成29年度横浜市読書活動推進ネットワークフォーラムについて、次に、2点目ですが、老松中学校七十周年記念 老松中学校生徒作成によるPOP展「なぜわた本～なぜわたしがこの本を選んだのか？～」の開催について、報告させていただきます。

私からの報告は以上です。

岡田教育長

報告が終了いたしました。御質問等がございましたらお願いいたします。どうぞ。

長島委員

西中学校の創立70周年に伺って、参列してまいりました。中学校なので、子供たちが司会や運営をし、地域の方が実行委員長となり、御自分たちの町の学校を大切にしながら、子供たちの育成を本当に温かく見守っていただいているという姿を拝見してまいりました。西中学校は西小学校と連携して始めたことで、西小学校の6年生がお祝いに駆けつけて、式典内に児童がやってくるという取組がまさに始まって、積極的にそのようなことを行っているということで、小学生と中学生と地域、保護者が体育館に集まったという、とてもいい姿を拝見することができました。小学生の児童の歌がすごくすばらしかったです。その子供たちがまた中学に上がってきて、すごくすばらしい歌声を響かせていたので、そういう意味でも小中が連携した教育につながっているなということを目の当たりにしてまいりました。報告です。

岡田教育長

ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に、平成29年度横浜市読書活動推進ネットワークフォーラムについて、所管課から報告いたします。

小椋教育政策
推進等担当部
長

教育政策推進等担当部長の小椋でございます。よろしくお願いたします。

去る11月11日土曜日、横浜市中央図書館で読書活動の全市的な普及啓発事業として、横浜市読書活動推進ネットワークフォーラムを開催いたしました。内容につきましては、生涯学習文化財課長より説明させていただきます。

重松生涯学習
文化財課長

生涯学習文化財課長の重松です。どうぞよろしくお願いたします。

写真入りの資料を御覧ください。先ほど部長が申しましたように、11月11日10時から16時45分ということで、中央図書館の1階と地下を使いまして、下にありますような活動を行いました。来場者数は約300人ということです。これは平成26年4月1日に「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が施行されまして、そ

の後、毎年こういった活動をやってきました。今回で4回目ということで、前の3回は一般市民もかなり対象にして、数千人単位の参加者で行っていましたが、今回は主に読書活動に関わっている方を中心に参加をお願いしまして、こういった活動を行ってまいります。

3番の「当日の様子」の左上は、横浜市の読書活動、学校司書の活動紹介ということで、パネルで紹介させていただいております。これは図書館の1階のほうで行いました。右側のほうは「学校図書館活用講座」ということで、これは地下のホールで、金澤磨樹子さん、三鷹市で学校司書を長らくやっていた方です。どうやったら子供たちが科学読み物に関心を持って読んでもらえるかというようなことで、講座を開かせていただきました。

続きまして、中ほど左は、品川で図書館長をされていまして佐藤涼子さんによりまして、「子どもたちとの読書活動」というテーマで、子供たちの読書活動をつなげていくための環境整備とか、そういったことの大切さについて基調講演をいただきました。

右側のトークセッションでは、市内の4つの活動団体から出ていただきまして、それに併せまして、下でその活動をされた方々の体験会とワークショップを行い、ここでお互いに意見交換とか、「自分もこんな活動をもっとしてみようかな」とか、活動をされている方もお互いに自由に質問をしながら、自分たちの活動に生かせるような形での体験会とワークショップを行いました。

説明は以上でございます。

岡田教育長

説明が終了いたしました。御質問・御意見がありましたらお願いいたします。はい、どうぞ。

長島委員

質問させていただいてよろしいでしょうか。どのぐらいの人数の方がこのワークショップに参加されたのか、教えていただきたいと思います。

重松生涯学習
文化財課長

ワークショップ自体は、はっきりワークショップだけで数えてはいないのですが、全体で100人から200人の方が参加されたのではないかと考えています。

長島委員

ありがとうございます。日にちが先ほどの周年の日に重なってしまい、拝見することができなかったのですが、こういう図書活動は私も学校支援をしているときに、地域の図書力というか、読書力を高めるためにワークショップ形式のものを開催したことがあります。実際に触れることでその方たちに興味を持っていただいて、更にそういう力をつけていただいてどんどん広げていくという方法は、地道であるけれども、体験することがすばらしいということを知っていただく大変いいチャンスだと思うので、ぜひこのようなことを積極的にいろいろな地域でやっていただけたらいいなと思います。よろしく申し上げます。

重松生涯学習
文化財課長

条例ができて以降、特に各区におきましてもこういった活動紹介と申しますか、ビブリオバトルとか、読書会の紹介とか、いろいろな工夫を凝らしてやってきましたので、そういった意味での活動は非常に広がってきているのではないかと現状では思っております。以上です。

岡田教育長

どうぞ。

宮内委員

こういう催し物の狙いは何なのでしょう。本離れが著しいとか、図書館に来

る人が少ないという傾向がありますが、こういった活動を通じて何をしようとしているのでしょうか。つまり、図書館に来ない人とか、本を読まない人はこういった活動には参加しないわけです。ですから、こういった活動に参加している人は、非常に本であったり、図書館に関心がある方だと思います。ということは、こういうワークショップに来られて、何の話をして、こういった成果を期待しているのでしょうか。更に、こういうワークショップを通じて本離れを止めるためにどういう施策が効果的だというような、施策につながる話はあるのでしょうか。

重松生涯学習
文化財課長

なかなか日頃本を読まれない方を簡単に呼び込むのは難しい面があるのですが、例えば今回紹介した横浜読書会というのがありますが、これは「本を読まなくても、見学だけでもオーケーです。見に来てください」というような呼びかけをしまして、その中で参加され、見に来られている方もいらっしゃるようです。ですから、いろいろなツールを使いまして、読書のきっかけのようなことをこの中から感じ取っていただければ、日頃読書になじんでいない方にも少し関心を持ってもらえるような、そういうきっかけとか、ヒントとかがこの中であったのではないかと考えております。以上です。

宮内委員

こういうセッションに参加している人は司書の方であったり、読書クラブの人たちが中心だと私は理解していましたが、今の御説明だとそうではなく、部外者の方も結構来られるということですか。

重松生涯学習
文化財課長

説明が不十分でした。今回はどちらかという読書活動をされている方がメインで来られているのですが、先ほど読書活動の1つとして、読書会という例を出しまして、その中の活動の中には「本は読まなくても、ただ見るだけでも結構です」というような呼びかけをすることによって、今まで関心のなかったような方も意外と楽しいねというような雰囲気を感じ取ってもらえるような仕掛けとか、集め方とか、そういった取組の紹介をいただいていると考えております。

宮内委員

こういう企画をするのは、結構事務局も手間がかかり、場所も使い、大変な労力がかかると考えております。それだけの時間とお金を使うならば、どういう効果が出たということ整理していただいて、更にその効果をほかに広めるかを検討したい。やったことで終わってしまうのではないかとこのことを危惧しております。ぜひフォローアップをよろしくお願いいたします。

岡田教育長

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、ネットワークフォーラムのフォローアップをよろしくお願いいたします。

それでは、次に、老松中学校七十周年記念 老松中学校生徒作成によるPOP展について、所管課から報告いたします。

山口中央図書館長

中央図書館長の山口でございます。老松中学校70周年を記念して、中央図書館でPOP展を展示しておりますので、その内容について説明させていただきたいと思っております。

及川中央図書館サービス課

中央図書館サービス課長の及川です。よろしくお願いいたします。

お手元の資料を御覧ください。老松中学校70周年記念のPOP展示についてで

長

す。1番目は趣旨としてまとめておりますが、老松中学校の図書室に展示しているPOP、いわゆる本の紹介カードを、横浜中央図書館で展示しまして、併せてその紹介した本のリストを配布しています。リストについては2枚目に添付させていただきます。

内容ですけれども、横浜市立図書館は、読書活動推進のため、市内の小学校や中学校と連携しまして、事業を実施しております。その一環としまして、横浜市中央図書館の至近にある市立老松中学校が、今年度で創立70周年を迎えたことを記念しまして、老松中学校の図書委員の生徒さんが作成したお勧め本の紹介をするPOPを、中央図書館のティーンズコーナーで展示しまして、紹介した本のリストを配布しています。これによりまして、老松中学校生徒の図書館利用を促すとともに、中学生やその保護者、子供の読書活動に関わる大人及び図書館の利用者の関心を集め、読書活動を推進したいと思っております。

日時ですけれども、11月7日から始めまして、明後日の19日まで展示しております。

場所は中央図書館の1階にありますティーンズコーナーで展示しております。

ブックリストについて掲載しておりますが、1年生、2年生、裏面に行ってくださいまして3年生と、それぞれ図書委員の方に作っていただいたPOPについて、このような展示をしております。

参考までに裏面の6番にその他としてまとめておりますが、展示のタイトル「なぜわた本」というネーミングは、老松中学校から職業体験で来館した生徒2名が考えたタイトルです。こちらはPOPの紹介文の中に「なぜ私がこの本を選んだのか？」という文言がありまして、ここからインスピレーションを得たということです。右側に写真がありますが、この題字も、職業体験で来館した生徒に作成していただきました。

(2)は老松中学校のPOPです。先ほども申し上げましたが、元々図書委員をしている生徒たちが、老松中学校の学校図書館をPRするために作成したものでございます。今回の展示はそれをお借りして図書館で展示したものです。

添付資料としまして、2枚目は実際に配布しております「なぜわた本」のリストです。実際にはこれを3分の1に折りまして、図書館で配布しております。

説明は以上になります。

岡田教育長

説明が終了いたしました。御質問・御意見がありましたらお願いいたします。はい、どうぞ。

中村委員

ティーンズコーナーについてお話を聞かせていただきたいのですが、常時このような開設をしているのか、それとも特別展的な感じでやっているのか、あるいはもし常時やっていらっしゃるとしたら、どのような内容のものをやられているのか、お話を伺えればと思います。

及川中央図書館サービス課長

ティーンズコーナーはその一角に常時様々な企画として展示させていただいております。スペース的にはさほど広くはないのですが、個別にティーンズの中学生、高校生の方の興味が湧くような資料について展示しております。

中村委員

図書館司書の方がやられているのか、それともここに書かれているように、市内小中学校と連携してということがあるのでしょうか。

及川中央図書

今回は市内小中学校の方と協力していますが、一般的、通常は図書館司書が企

館サービス課長	画をしまして、それに基づいた展示をさせていただいております。
岡田教育長	はい、どうぞ。
宮内委員	実際に中学校でこういったPOPを使った運動をしていることをほかの人に紹介する企画だと了解しております。現場ではどういった効果が出ていますか。効果が出るのだったら、ぜひともいろいろな学校で応用してみたらよろしいのではないかと思います、質問する次第です。
及川中央図書館サービス課長	<p>今回の展示に関する効果なのですが、なかなか定量的な評価は難しいところなのですが、具体的にこのリストを配布しまして1週間余りで46部配布されております。そのほかにも紹介している本の貸出希望が多いと私のほうでは聞いておまして、貸出可能な資料についての問い合わせもごぞいます。また、展示した本の関連図書の貸出も好調で、毎日数冊ずつ貸し出されているという報告を受けております。</p> <p>また、こういった企画を更に発展させたらどうかという御提案だったと思うのですが、現在中央図書館は西区の地域館という位置付けもありますので、西区の小中学校と連携し、各学校にお願いしまして、作成していただいたPOPを図書館で展示したり、あとは西区の区民祭りのほうで中央図書館にある移動図書館と併せて展示をしたりということをやっております。</p>
宮内委員	老松中学校で効果が出たからこういうことをやっているわけですね。ほかの学校にも広めたいと思って。老松中学校でこういう運動によって本を読む人がどの程度増えたのか、正確な数字を聞きたいのではなくて、効果を言葉で語っていただければと思います。
及川中央図書館サービス課長	老松中学校における効果ということですか。
宮内委員	効果があるからやっているのですよね。
岡田教育長	老松中学校の図書館の活用についてはどうですか。直井指導部長。
直井指導部長	すみません。ちょっと。大変申し訳ありません。
岡田教育長	そうですか。はい、どうぞ。
長島委員	先日たまたま岡野中学校に伺って、会場が図書館でした。そのときと前とをはっきり比べていないので、比較評価ではないのですが、いい図書館だなと思いました。中学校の図書館は、小学校のように掲示の仕方などがそんなに読みたい、ここに通いたいと思うところがそんなに多くないところ、学校司書が入るようになって、全市的にとても良くなってきました。その中で岡野中学校を伺ったら、ここの図書館は手を入れているなと感じたのが、もしかしたら西区の取組として効果を得ていることなのではないかと、今このお話を伺って感じました。そういうところが宮内委員の御質問の回答に近いものになるのではないかと感じまし

た。

岡田教育長

では、館長からどうぞ。

山口中央図書館長

宮内委員の御質問に的確にお答えできるかどうか分からないのですが、各学校が図書委員を中心にして学校図書館をもっと活用していこう、それからもっと読書活動を広めていこうというような試みとして、西区においてはPOPの活動を盛んに行っているということです。老松中学校の70周年はティーンズコーナーで行っていますが、それ以前には西区全体の小中学校の学校図書館で、図書委員をやっている諸君のPOPをもっと大きな展示場所で紹介したりしています。それは学校で学校司書の方、司書教諭の方が読書活動を進めるお手伝い、それからそういう活動を図書館でもPRしていこうという、そういう活動の一環だと考えております。

宮内委員

小学校のときに読書習慣が付かないと、一生読書習慣が付かないとよく言われ、そういったデータがあります。小学生に少しでも本に親しんでもらいたいというのが図書館長のお考えでしょうし、我々の願うところでもあります。決定打、決め手というのは多分ないと思うので、こういう手法が少しでも効果があるということが分かるならば、ぜひ活発化させてもらいたいと思います。やはり教育活動ですので、データをとってみる、大まかなトレンドをとってみるとか、どういった活動に効果があるかということ、ぜひ研究を深めて、本に親しむ児童を増やすようにしていただければと願う次第です。

岡田教育長

ぜひほかの地域図書館とも意見交換して、子供たちの読書活動推進に役立ててほしいと思いますので、よろしく願います。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、次に議事日程に従いまして、審議案件に移ります。

まず、会議の非公開について、お諮りいたします。教委第57号議案「平成29年度歳入歳出予算案（12月補正）に関する意見の申出について」は、議会の審議案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

それでは、教委第57号議案は、非公開といたします。

議事日程に従いまして、教委第56号議案「学校規模適正化等について」、所管課から説明いたします。

門林学校計画課長

学校計画課長の門林です。よろしく願います。

それでは、お手元の資料、左上が教委第56号議案という資料を御覧いただければと思います。「学校規模適正化等について」でございます。1枚おめくりいただきまして、裏面の2ページを御覧いただければと思います。提案理由でございます。平成29年10月25日付で横浜市学校規模適正化等検討委員会からの答申に基づき、上菅田小学校と笹山小学校の学校統合を実施したいので、これについて提案するものでございます。

それでは、説明につきましては3ページ以降の資料で説明させていただきます。3ページの1、「『上菅田小学校・笹山小学校』通学区域と学校規模適正化等について」を御覧いただければと思います。保土ヶ谷区の笹山小学校につきま

しては、平成29年5月1日現在、一般学級が6学級、一般学級児童数が84名の小規模校ということで、市内で最小の小学校となっております。今後もこの状況が続く見込みであるということから、隣接する上菅田小学校との間で、教育委員会からの諮問に基づきまして、地域に検討部会を設置いたしまして、具体的な検討をこれまで進めてまいりました。検討部会は平成29年4月から5回開催いたしまして、部会での考え方がまとまり、意見書ということで整理されております。

また、横浜市学校規模適正化等検討委員会から教育委員会への答申がございまして、それに基づきまして、両校の学校統合を実施したいと考えております。

(1) はこれまでの経過をまとめたものとなっております。

(2) はこの検討をした地域の委員の名簿を載せております。地域の連合町内会の連長であります松野部会長を中心にいたしまして、地域の代表の方、またPTAの代表の方、また学校関係者ということで校長先生などにお入りいただいて、議論を進めてまいりました。

1枚おめくりいただきまして、4ページを御覧いただければと思います。4ページの大項目2、意見書でございます。検討部会のまとめが意見書ということになります。

(1) の学校統合の時期及び使用校舎についてです。平成32年4月に上菅田小学校と笹山小学校の両校を学校統合したいと考えております。また、統合校の使用校舎及び用地につきましては、現上菅田小学校を使用したいと考えております。

(2) の学校名でございますが、統合校の校名につきましてはこちらにありますように上菅田笹の丘小学校としたいと考えております。

(3) の通学区域案についてですが、こちらにつきましては下の通学区域図を御覧いただければと思います。両校の通学区域を合わせた通学区域が太い線、緑色で塗られているエリアということで、全体の両校の通学区域を合わせた区域を統合校の通学区域とするものでございます。地図が小さくて見にくいのですが、地図の下の方に「統合校（現上菅田）」と書いてあるところが今後統合校となる場所でございます。この場合、北側に笹山小学校がございまして、北側に斜線で塗られているエリアがこれまでは笹山小学校に通っていたエリアから越えて統合校まで通うので、距離が延びてしまうということで、隣接する、北に行ってくださいと竹山小学校、そしてこの竹山小学校のエリアを管轄する部分が、更に北に行ってくださいと、鴨居中学校ということになりますので、斜線エリアにつきましては小学校と中学校につきまして、竹山小学校、鴨居中学校も選べる特別調整通学区域を設定したいと考えております。

大項目の3でございます。今回、学校統合に合わせまして、学校施設が老朽化しているということで、学校施設の建替えも進めていきたいと考えております。現上菅田小学校の施設整備につきましては、市の方針として学校施設の建替えが決定しております。現在は、この検討する地域の部会とは別に、地域や保護者の代表、学校関係者で検討の場を設けまして、具体的な建替えの機能などについて御議論をいただいているところでございます。

大項目4は今後の予定でございます。横浜市立学校の設置・廃止を実施するに当たりまして、横浜市立学校条例を改正する必要があります。そのため、別途、「横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出」を教育委員会で御審議いただきまして、承認いただければ、市会のほうに条例の議案を提出したいと考えております。

5ページ以降につきましては、学校規模適正化等検討委員会から上がってきまして答申書ということで、6ページをめくっていただいて、次の7ページ、8ペ

ージという資料は、地域でまとめた意見書が上がってきております。検討部会の地域でまとめた内容をそのまま答申として基本的には受理したという形になっております。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

岡田教育長

説明が終了いたしました。御意見・御質問がありましたらお願ひいたします。どうぞ。

大場委員

1点だけ、冒頭に横浜市でも一番児童数の少ない学校に笹山小学校がなっているということですが、笹山小学校は設置時点から比較的少ないままここまで推移してきたのでしょうか。

門林学校計画課長

笹山小学校は、元々は一帯が上菅田小学校のエリアだったのですが、笹山団地という1500戸ほどの県営団地ができて、それで人口が急増するということが分離して、笹山小学校ができております。ピーク時は1400人を超える規模まで児童が増えました。それ以降、減少の一途をたどりまして、現在に至っているという状況でございます。

岡田教育長

ほかにはいかがでしょうか。

1点だけ確認ですが、学区をどうしようかということが検討されたときに、笹山エリアの学区を広げるという適正規模化に向けた検討も、この検討委員会の中でたしか幾つかのパターンで検討したと思うのですけれども、それについては地域の方たちはやはり統合ということを選ばれたということではないのでしょうか。

門林学校計画課長

今回検討を始めるに当たりまして、笹山小学校が小規模化しているという状況について、両地域でどのようにすれば適正規模化するかということで、まず当初は学区の調整で上菅田小学校の学区から笹山小学校の学区に変更する形で人数が増えないかという検討は、かなりの案について事務局からも出しまして、議論をいただきました。

しかしながら、やはりどの案を進めましても、児童数として単級の状況がなかなか解消できないという状況がございまして、元々この地域は上菅田という1つの地域ですので、地域として1つの学校となって新しい学校を作っていくというのが地域の皆さんの御意見としてまとまりまして、今回選択として統合という判断に、最終的に至りました。

岡田教育長

ほかには何か御質問・御意見がありましたらお願ひいたします。

私が意見を申し上げて申し訳ないのですが、建替えをすることが決まっていますから、統合して新しい学校になるときは、上菅田は新しい校舎になっているという理解でいいですか。

門林学校計画課長

今回、建替えを進めていくとなりますと、やはり地域の皆さんの御意見を聞いてから、図面上の基本設計、実施設計、そして工事に入ってくるということで、期間としては5年程度かかってしまいます。

一方で、地域の中でも建替えが終わった後、新しい校舎にみんなに通うという案もあったのですが、笹山小学校の児童が市内最少で、今後複数の学年で10人を下回るような状況も見えるということで、やはり地域として未来を担う子供たちのことを考えた場合に、早急に統合を進めたほうがいいだろうという議論となり

ました。

よって、やはり両校のどちらかの学校に子供たちが通って、全員が入るような状況にするとすると、現状の校舎に一部手を入れて教室を増やさなければならず、内部を改修していくような期間も十分とるということで、平成32年4月に統合となりました。その後の建替え工事期間については、どちらかの学校、現笹山小学校に一旦通っていただく場合もありますし、現上菅田小学校に通っていただいて工事をするといった場合もありますが、どちらに在校生に通っていただくかということ、まさに今これとは別の場で地域代表等の皆さんで御議論いただいているところでございます。

ですから、平成32年4月時点では建替えが終わった後の校舎ではなくて、どちらかの既存の校舎に通っていただいて、それから何年かして建替えが終わってから新しい校舎に移るということになるかと思えます。

岡田教育長

ほかに何か御質問・御意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、ほかに御意見等がなければ、教委第56号議案につきましては、原案のとおり承認いただいてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

それでは、原案のとおり承認させていただきます。

以上で公開案件の審議が終了いたしました。

事務局から、報告をお願いします。

山岸総務課長

御報告申し上げます。

次回の教育委員会定例会は、12月1日金曜日の午前10時から開催する予定でございます。

また、次回の教育委員会臨時会は、12月15日金曜日の午前10時から開催する予定でございます。

以上です。

岡田教育長

それでは、次回の教育委員会定例会は12月1日金曜日の午前10時から開会する予定です。また、次回の教育委員会臨時会は12月15日金曜日の午前10時から開会する予定です。別途、通知いたしますので御確認をお願いいたします。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方、報道機関の方は御退席をお願いいたします。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<非公開案件審議>

教委第57号議案「平成29年度歳入歳出予算案（12月補正）に関する意見の申出について」

（原案のとおり承認）

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会臨時会を閉会といたします。

[閉会時刻：午後 2 時47分]